



保存版

阿武町洪水 ハザードマップ

ABU TOWN Flood disaster Risk & information

郷川 流域

この洪水ハザードマップは、山口県が公表している浸水想定区域に基づき、郷川流域において想定し得る最大規模の降雨（郷川流域の24時間の総雨量557mm）により、郷川が氾濫した場合に想定される「浸水の深さ」や「避難場所」などを記載したものです。

ハザードマップを見て、
住んでいる地域の
浸水リスクを知ろう！



5. 防災情報を入手する

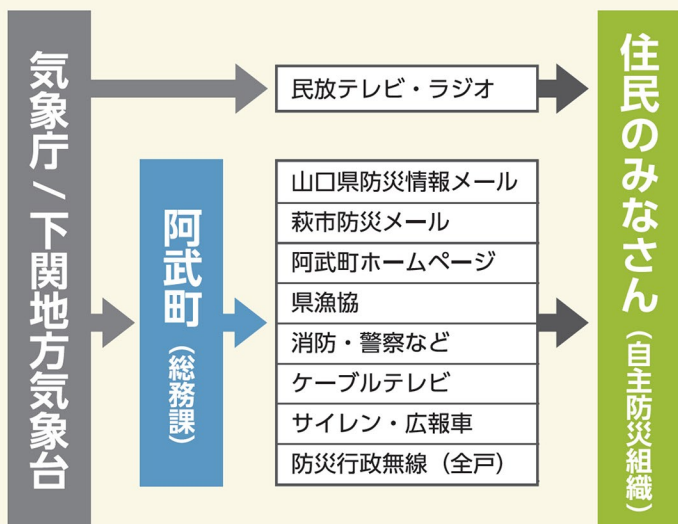
雨がひどいときは
川の様子を見に
行かないでテレビ等で
情報を入手しよう。



防災情報の入手先

テレビ	 <p>テレビの「d」ボタン NHK総合(1チャンネル)を表示し、リモコンの「dボタン」を押すと、防災に関する情報や気象情報、町から発信する避難情報、避難所開設などの情報をいち早く見ることができます。 【操作方法】① NHK総合(1チャンネル)を表示し、リモコンの「dボタン」を押す。 ② リモコンの矢印で「防災・生活情報」を選択し、「決定」を押す。 ③ リモコンの矢印で見たい情報を選択し、「決定」を押すと情報が表示されます。</p>
登録制メール	 <p>山口県防災情報メール 気象の注意報、警報や雨量、河川の水位等の防災情報をメール配信します。 【登録方法】※登録は無料です。 メールアドレス:regist@suibou.pref.yamaguchi.lg.jp宛に、件名・本文を入力せずにメールを送信してください。返信メールが届き、登録フォームに必要事項を記入します。</p>  <p>詳細はこちら</p>
登録制メール	 <p>萩市防災メール 気象の注意報、警報や雨量、河川水位等の防災情報をメール配信します。 【登録方法】※登録は無料です。 メールアドレス:hagi@xpressmail.jp宛に、件名・本文を入力せずにメールを送信してください。</p>  <p>詳細はこちら</p>
水位	 <p>雨量情報や河川の水位情報(山口県土木防災情報システム) 山口県全域の雨量や郷川の水位(新八幡橋水位局)などを確認することができます。</p> 
山口県	 <p>防災やまぐち 山口県全域の気象情報や災害情報、公共交通情報、道路情報、ライフライン情報などを確認することができます。</p> 
阿武町	 <p>阿武町ホームページ ハザードマップ、避難場所開設状況などを確認することができます。</p>     
阿武町	 <p>防災行政無線(スピーカー) 災害時、定時放送とは別に緊急的に放送します。 防災行政無線放送の内容をオンラインで確認することができます。</p> 

防災情報の伝達方法



その他のハザードマップ

大きな洪水が発生しやすい気象のときは、同時に他の災害も発生しやすくなります。他のハザードマップも確認しておきましょう。阿武町役場で配布しています。



土砂災害



津波・高潮



「ため池」災害



ゆれやすさマップ(地震)

阿武町の
ホームページでも
見られるよ。



普段から気をつけて準備しておこう。



2. 大雨が降る前に備えておこう

▶ 備蓄品などの持ち物を準備しよう

「1.避難する場所を決めよう」のチャートで「自宅にいる」を選んだ方

自力で3日間を過ごせるよう
備蓄品を備えましょう！

- 食料品** 缶詰やレトルト食品などの非常食
最低3日分、できれば7日分は用意
- 水** 飲料水は大人1人あたり1日3ℓが目安
最低3日分、できれば7日分は用意
- 燃料** カセットコンロ、予備のボンベなど
- 工具** ロープやスコップなど
- その他** ウェットティッシュ、タオル、
簡易トイレ、毛布、ラップ、食器類など



※水道管の破損や停電による断水に備えて、必ず用意しておきましょう。

「1.避難する場所を決めよう」のチャートで「安全な場所に移動」を選んだ方

非常持ち出し品を用意！
持ち運べる必要最小限のものでOK

- 貴重品**
- 避難用具**
- 救急用具**
- 非常食料**
- 衣類**
- 生活用品**
- その他**

※阿武町津波・高潮ハザードマップに詳しく掲載しています

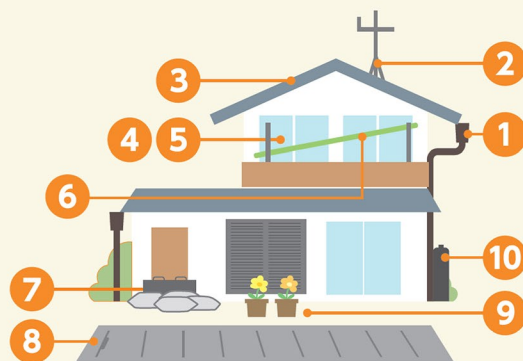


※メガネ、薬、育児用品などは、避難先では入手できない可能性があります。日々の生活に必要なものは必ず入れましょう。

▶ 大雨が降る前に家の点検をしよう

家の外

- ① 雨どい**
 - 枯葉や砂が詰まっていないか
 - はずれていないか
- ② テレビアンテナ**
 - さびたりゆるんだりしていないか
- ③ 屋根瓦やトタン**
 - めくれたり壊れたりしていないか
- ④ 窓**
 - 飛散防止フィルムを貼る
 - ひび割れや窓枠のがたつきはないか
- ⑤ 雨戸やシャッター**
 - がたつきやゆるみがないか
 - ちゃんと閉まるか
- ⑥ 物干し竿**
 - 飛ばされないように下ろす
- ⑦ 土のう・止水板**
 - 玄関や床下換気口などへ設置して、住宅内への浸水被害を最小限に抑える
- ⑧ 側溝や排水口**
 - 掃除して水の流れをよくしておく
- ⑨ 植木鉢・庭木・ベランダのもの**
 - 飛ばされそうなものは家の中へ
 - 庭木は飛ばされたり、倒れたりしないように支柱で固定する
- ⑩ プロパンガス**
 - 固定されているか



家の中

- 雨戸を閉めたり、飛来物が入り込んでくるのを防ぐためカーテンやブラインドを閉める
- 貴重品、動かせる家具・家電製品など、水に浸かると困るものを高い所に移動させる
- 停電に備えて、携帯電話やパソコンを充電する

▶ 洪水ならではの注意点

浸水時の避難は足元注意！

道路が冠水し、泥水に覆われると、危険な場所の見分けがつかなくなる。浸水している場所を歩くときには、棒などで足元を確認し、注意して避難しよう。

また、水位が膝の高さを超えると歩行が難しくなり、水の流れが強くなると膝の高さの水位でも流される危険性が高くなります。



用水路は特に危険です！

車での避難の注意！

周りの水位が上がり、車内から脱出できなくなってしまうおそれがある。冠水して止まってしまった車がエンジンをかけると、破損が深刻化したり、感電・発火の可能性があります。大変危険です！

浸水深と車の状況

50cm以上	車が浮く。パワーウィンドウが作動せず、車の中に閉じ込められてしまう。車と共に流され、非常に危険な状態。
30~50cm	エンジンが停止。危険な状態。急いで車から退出しないとイケない。
10~30cm	ブレーキ性能が低下。安全な場所へ車を移動させる必要がある。
0~10cm	走行に関しては問題ない。



1. 避難する場所を決めよう

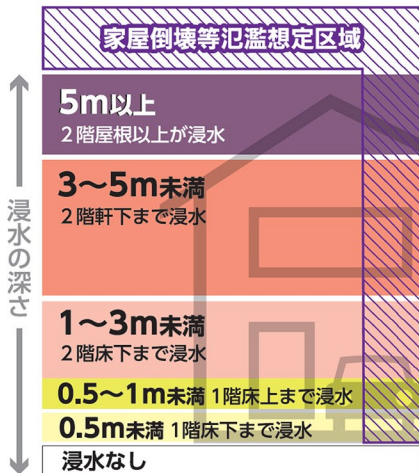
安全な場所や避難ルート候補はいくつか考えておこう。



裏面の地図を見て、自分の居場所を探してみましょう。

浸水想定区域

の中に入っていますか？



※地図に塗られた色を選んでみましょう。

自宅や避難所など安全を確保できる場所はあらかじめ決めておこう

家屋倒壊等氾濫想定区域

洪水による水の流れが強く、家屋が流される危険性が高いので避難が必要

- 5m以上
- 3~5m未満
- 1~3m未満
- 0.5~1m未満
- 0.5m未満
- 浸水なし

浸水想定の高さより高い場所で長い時間過ごせますか？

浸水の深さが3mを越えると、木造平屋は流出する可能性があります。



過いせる

過いせない

自宅にいる

家での備えが必須！

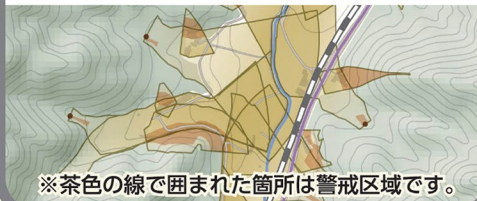
日頃から家の点検や備蓄品などを備えておこう。



入っていない

土砂災害警戒区域

の中に入っていますか？



※茶色の線で囲まれた箇所は警戒区域です。

入っている

災害発生のおリスクがあります！

その場を離れ、“安全な場所”に移動しましょう！



親戚・知人宅

- 緊急時に避難させてもらえるか、事前に相談しておこう。
- 避難生活に必要なものは自分で用意しておこう。



宿泊施設

- 宿泊料が必要。事前に予約する。
- 移動に時間がかかるため、道路状況を確認し、早めに移動を開始しよう。



指定緊急避難場所

- 命を守ることを最優先に、災害の危機から逃げるための場所。

このピクトグラムが目印

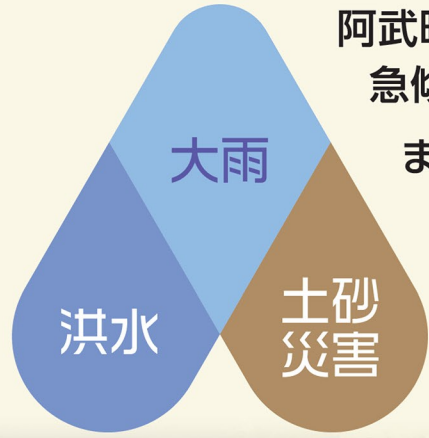
開設状況等詳細はこちら



● ハザードマップを見て、避難先までのルートを確認しよう。複数の候補を考えておこう。

● 避難所の備蓄品には限りがあります。非常持ち出し品を持参しよう。

阿武町と災害の関係



阿武町は、山に囲まれ、複雑に入り組んだ地形や急傾斜地が多い地域です。

また、郷川は川幅が狭く、勾配が急なため、**短時間で大量の雨が降ると、“洪水”を引き起こします。**

地質的にも風化しやすく侵食に弱いため、土石流、地すべり、急傾斜地崩壊などの**“土砂災害”がおきる危険性が高くなります。**



指定緊急避難場所 兼 指定避難所



⚠️ 道路通行規制

大雨などの異常気象時に、道路災害による事故の未然防止のため、地すべりや落石等が起きやすい地域では道路の通行規制を行う事があります。

[本ハザードマップの対象エリア内の路線]
路線名 規制区間 延長

県道益田阿武線 河内～田平 4.4km

危険内容
地すべりや落石のおそれ

通行注意

- ①連続雨量が80mmに達したとき
- ②1時間の雨量が20mmに達したとき

通行止め

- ①連続雨量が150mmに達したとき
- ②1時間の雨量が40mmに達したとき

※規制の基準は①と②どちらか一方が達したとき
※連続雨量とは、降り始めからの降雨量の累積

5m以上	2階屋根以上が浸水
3～5m未満	2階軒下まで浸水
1～3m未満	2階床下まで浸水
0.5～1m未満	1階床上まで浸水
0.5m未満	1階床下まで浸水
浸水なし	

～過去に起きた災害～ 山口・島根豪雨 平成25年7月28日

阿武町の一部では早朝から、これまでに経験したことのない猛烈な大雨が、短時間で局地的に降りました。この影響で、町内各所で道路や河川の破壊、土砂崩れやため池が決壊、家屋倒壊のほか床上・床下浸水など多くの災害が発生しました。



増水により破壊された白須川護岸(惣郷)



民家を巻き込む土砂崩れ(久瀬原)

町内各所で被害が続出!

宇田郷地区: 1時間の最大雨量75mm
山合川が氾濫し、民家が床上・床下浸水し、土砂崩れも発生。

福賀地区: 半日で総雨量421mm
民家が床上・床下浸水、土砂崩れも発生。石原ため池の決壊により農作物に被害。

惣郷と福賀を結ぶ「県道福田下惣郷線」で、広範囲にわたって土砂崩れが起き、道を分断。惣郷簡易水道施設の配管を破壊し、**惣郷地区は5日間断水。**

避難者: **106世帯164人**

被害の状況 (阿武町)		出典: 広報あぶ (平成25年8月 阿武町)		
人的被害	死者	0人	土木関係 道路被害	3,500万円
	負傷者	3人	土木関係 河川被害	5,260万円
住宅被害	全壊	2棟	農林関係 農林水産物等被害	1,300万円
	半壊	0棟	農林関係 農業施設等被害	9,513万円
	一部損壊	0棟	治山関係	400万円
	床上浸水	15棟	被害総額	1億9973万円
	床下浸水	22棟		

※この鳥瞰図の地図に洪水での浸水シミュレーション画像を合成したものです。正確なシミュレーションは裏面の地図をご確認ください。

